

(無題)

けんいち

2014年7月7日、たなばたの夜。僕はJR大阪駅のバス停の近くで寝ておりましたけど、ビッグイシューの吉田さん、藤原さん、服部さんの3人に声をかけてもらって目が覚めて、声をかけてもらってから夜10時から朝6時まで寝ておりました。けど、雨が降ってイスの下で寝ておりました。洋服が濡れて情けなくて涙が出てきて泣いておりました。

けど、2014年7月8日の午前中に、堂島事務所に行つて天王寺公園口阿倍野地下となりで雑誌販売しておりますけど、初めの頃は、雑誌販売が悪くて、毎日夜シエルターで涙を流しておりましたけど、今は特別清掃アルバイトがありますので、生活が楽になりますので、1カ月に6回分のアルバイトがあります。31800円になります。センターガードマンアルバイトがあります。3日分で、17100円になりますので、ビッグイシューの人たちと友達のおかげだと思います。これからも、雑誌販売、特別清掃、センターガードマン、1年に3回分のアルバイトがありますので、頑張ります。

子供の頃の苦労たくさんしましたので、今の雑誌販売をしてよかったと思います。可愛い綺麗なお姉さんがたくさんおられますので、お客さんと話をするのが一番楽しいです。僕は12歳の冬から63歳の今までの50年間、山あり谷ありの人生でしたけど、人生いろいろと思います。島倉千代子の人生いろいろと思います。心残りや悔いはありません。高倉健のからじちぼたん(※唐獅子牡丹)のB面の2番の歌詞の歌の中にあります。

自分が選んだ仕事ですし、道ですし、1年でも長くしますので、先のことは分からないけど、昔の子供の頃の苦労がありましたので、今の自分があると思っております。今までも昔のことが頭から離れません。昔のことを思い出すと今までも涙が出てきます。つらいこと、楽しいこと、恥ずかしいこと、痛いこと、気持ちのいいこと、冷たいこと、悲しいこと、寂しいこと、たくさん経験しました。けど、僕を生んでくれた母のおかげとと思います。好きな女性もたくさんできました。女性を好きになつて愛しあつて好きな同性愛の映画もたくさん見えました。今までも、月に4回雑誌販売して新世界の日げき映画館に行つております。火曜も同性愛の映画を見に行つております。映画を見ている時が一番幸せです。これからも、頑張ります。嫌なことを忘れて見えています。

酒ビール酎ハイ焼酎の味を覚えたのが、13歳でした。夜、父ちゃんと毎日飲んでおりました。大阪に15歳の時に働きに行つて、正月に毎年帰つて夜は父ちゃんと飲んでおりました。タバコは63歳の今まで吸ったことはありません。体に悪いし、1件目の会社の社長と2件目の会社の社長が喜んでおりました。女性を初めて知ったのが、28歳の冬の寒い夜でした。今でもハッキリと覚えております。とても気持ちよかったです。毎月28歳から33歳までの5年間、同じ人に指名しておりました。父母に感謝しております。

父母の命日は、1年に1回ビッグイシューの近くの神社にビッグイシューの人と行って、手を合わせております。父の命日は1月20日、母の命日は6月20日です。病気で1985年6月20日午前3時25分に亡くなりました。女性特有の卵巣ガンでした。58歳でした。僕には、とても優しい人でした。僕をいつも抱っこしてくれました。僕は、母ちゃんに子供の頃いつも甘えておりました。母ちゃんに、いつもまとわりついて離れませんでした。父は、昭和46年1月20日、病気で亡くなりました。けど、自殺で亡くなりました。僕が12歳の時、父母が病気で寝ておりましたので、生活保護をもらっておりました。小学校6年生から中学校3年生までの4年間は、教室の隅っこでいつも一人でした。僕を相手にしませんでした。僕の初恋の緑さんの所に行っておりました。6時間目の勉強が終わってから、毎日1時間に30円の契約でアルバイトをしました。夜ごはんを食べさせてもらっていました。夜9時に帰って寝ておりました。10日に1回3000円の契約で、僕の好きな回転焼きを買って食べておりました。10日に1回3000円の契約で好きな物を買って食べ、学校で使う文房具を買って勉強しておりました。散髪は2カ月に1回で300円でした。残りはアルバイト先の人に預けていました。貯金してもらっておりました。1967年3月19日、春に大阪に働きに行く前の日に父母に生活費の足しに渡ししました。14400円渡しました。父母は、僕に子供に苦労かけてすまないと言っていておりました。今でもハッキリと覚えております。

中学校3年生の夏休み、朝5時から夕方4時まで山までノコギリで木を100cm間隔で切りました。1日働いて4000円の契約で40日間働いて、16000円もらって、1967年3月19日の春に大阪に。当時、15歳で長崎県五島列島福江富江町宮下の家からバスに乗って福江港まで母がついてくると、僕に言ったけど、船での別れがづらいので、家の中で母の手を握って抱き合って泣いて別れました。毎月3回、母に手紙を書いて出しました。母も僕に月に2回手紙を出してくれました。どこまで来ても、同じことです。つらくなるだけです。船で別れたことは、1度もありませんでした。福江港からつばき丸300トンの船に乗って、長崎港に着いて長崎港から大阪駅まで約1000kmあります。急行雲仙2号で15時間揺られて、大阪駅にきました。今は、フェリー3000トンが3隻あります。今は、ジェットホイルが長崎港から福江港まで70分で行けます。フェリーは、4時間かかります。人がたくさんいるのと、車がたくさん走っているので、2階建ての高速道路がありますので、びっくりしました。夜、星が見えないのでびっくりしました。大阪弁が分からなくて慣れるまで3年間かかりました。絵葉書も見て、覚えめました。1件目の会社は大きな紙を小さく裁断する仕事でした。機械に寸法を記憶させて切りました。紙裁断工の職人でした。現在の北区大淀町で24年間働きました。年上の先輩の人たちから毎日いじめられて、口には出せないことも裸にされて気持ちのよいこともされていきました。3年間されました。どこにも行くところがないので辛抱しました。五島列島福江富江町宮下の家に、毎月社長奥さんに渡しました。

平成2年9月30日、紙屋を辞める時、当時240万円ありましたが、生活費の足しに使いました。240万円のうち120万円は僕の奥さんに渡しました。38歳の時、エミカさんと結婚しました。毎月、月の初めに30万円のうち15万円をマンション代とデパート代に渡しました。42ヶ月で、630万円渡しました。五島列島福江島富江町宮下の家にお金を毎月送りました。15歳から33歳まで送りました。今の20歳代の人には、僕の真似はできないと思います。風呂に行く先輩の風呂道具を3人分持って後をついて行きました。先輩の体も洗ってあげました。1番恥ずかしかったのが、皆の前で裸になることでした。5時に起きて、好きな物を買いにいきました。僕の分も作ってくれました。優しい所もありました。夜、寝る前に1時間先輩の体を全部マッサージしました。下積み生活が13年間続きました。1番辛かったのが冬の冷たい水でせっけんつけて、下着3枚15円の契約でしました。

2件目の会社は、家を潰す解体工業で24年間働きました。

3件目の会社は、雑誌販売の会社です。2014年7月8日午前中に入社して、JR天王寺公園阿倍野地下となりで雑誌販売をしております。自分のことだけど自分の意見をこうと決めたら、周りの意見を参考にして最後は自分の意見を通します。30年前に、生き別れた弟と妹に頑固頭と言われましたけど、僕の性格です。僕が、女性を好きになって惚れて愛しあって生き別れた人の数は、僕が15歳で相手が22歳の人、僕が17歳で24歳の人、僕が23歳で29歳の人、僕が25歳で32歳の人です。手紙を1カ月に3回書いて出しましたけど、1回手紙が来ましたので、会いに行つて、話をしましたけど、僕の年齢が若いので別れました。28歳の時、見合いを3回しましたけど、縁がありませんでした。25歳の時、7年間付き合いましたけど、生き別れました。33歳の時、43歳のエミカさんと知り合つて、結婚して、愛しあって、9年間付き合いました。平成6年2月28日に僕が42歳の時、病気で死に別れました。毎日元気がなくて、毎日しょんぼりしておりましたけど、38歳の時、23歳の女性と知り合つて付き合っていましたけど、2014年5月9日夜に生き別れましたけど、2014年7月8日午前中にビッグイシューに来て、川越さんと栗原さんと茶谷さんと知り合いました。3人とも可愛いし綺麗だし優しいし、大好きな人たちです。電話で話しております。

可愛い声を聞くと元気が出て、雑誌販売が楽しいです。

昭和49年11月10日、僕が22歳の時、1件目の会社の旅行で和歌山県白浜に行つて、皆で風呂に入った時、社長の奥さんの目の前で裸を見た時、女性の裸に興味を持ちました。

25歳の時、8年間毎週土曜日に十三の55ヤングピンクサロンに夕方5時から12時まで飲みに行つておりました。

2千円で飲んでおりました。八代さんだけ毎週土曜日に飲みに行つておりました。結婚はできませんでしたが、楽しい思い出に残っております。オシボリで上下運動して出してもらつておりました。とても気持ち良かったです。8年間飲みに行つて生き別れました。

十三のサンローランで歌を歌いました。無松の一生どきようせんとり（※無法松の一生、度胸千両入り）を歌いました。僕は、70曲知っておりました。居酒屋花かごで50曲歌いました。大阪駅の地下街に、同性愛の本1冊700円だして買いに行っておりました。5年間買いに行っておりました。

〈選評〉 この作品で強烈に印象に残ったのは、数字です。年月、金額などの数字が、最近のことでも何十年前のことでも、同じように細かく正確に記されていますよね。時間も過去や現在を行ったり来たりしていて、作品全体が、時間の流れに縛られない、不思議なたたずまいです。けんいちさんは自分にとっても正直なのだろうなと感じました。だから、時間やさまざまな境界を超えてしまうのだらうと思います。人柄のとてもよく出ている素敵な文章でした。（星野）